

1 都市をこえて一領域のなかの建築  
はたして「都市」という概念はこれからも  
存続していくのだろうか。場所における伝統  
性・固有性に対して、現在の拡張・錯乱し続  
ける空間の形態の組織化を建築家としてどう  
捉えるべきか。仮にそれを「領域」と名付け  
てみる。領域の上では都市における中心とい  
う概念は消失し、むしろあらゆるものを包括  
したときに際立つ境界に焦点が当てられる。  
翻ってみると、建築という行為もまた壁を  
建て、屋根を懸け、空間を隔てる境界として  
の役割を果たしている。そしてそこから穴を  
穿ち、周囲との関係をつくりだしている。  
そうしたひとつひとつの建築が連なってつ  
くりだす都市・景観という問題に立ち向かう  
為に、歴史的時間を扱いながら、現在を生き  
る為の空間を発明できる建築家をわれわれは  
必要としている。私は、「領域という文脈の  
なかの、境界としての建築」というアイデア  
をもって、その課題に応えていきたい。